

### 【文法表現の習得活動】5 ステップ

目標：どこで何をすることが言えるようになる。

導入したい表現：目標となる表現：在<場所><行為>（例：在大学教中文）

#### Step1 導入

※語彙の習得活動の Step5 と位置付けることもできる

・家族がどんな仕事をしていて、どこで働いているかというやりとりの会話を提示する。

A: 你妈妈在哪儿?

B: 我妈妈在纽约。

A: 你妈妈是……?

B: 我妈妈是外交官, 在联合国工作。

#### Step2 インプット活動

(1) 次の行為をピンインと漢字表記で提示し、学習者はそれらを a~c の 3 種類に分類し、( ) に番号を記入する。※漢字表記は最初は見せない。

a. あたりまえ

b. ほめられたことではない

c. やってはいけない

1. zàishítángshuìjiào ( ) 在食堂睡觉

2. zàitúshūguǎnchīfàn ( ) 在图书馆吃饭

3. zàitúshūguǎnkànshū ( ) 在图书馆看书

4. zàiyóuyǒngchí li xǐzǎo ( ) 在游泳池里洗澡

5. zàishítángchīfàn ( ) 在食堂吃饭

6. zàiyóuyǒngchí li shuìjiào ( ) 在游泳池里睡觉

7. zàishítángchàng gē ( ) 在食堂唱歌

8. zàitúshūguǎnshuìjiào ( ) 在图书馆睡觉

9. zàiyóuyǒngchí li yóuyǒng ( ) 在游泳池里游泳

(2) 場所を表す前文をピンインと漢字で提示し、学習者はその場所でするもっとも一般的な行為を①~⑤から選んで ( ) に記入する。

※漢字表記は最初は見せない。

1. zàiyóuyǒngchí li ( ) 在游泳池里

2. zàitúshūguǎn ( ) 在图书馆

3. zàishítáng ( ) 在食堂

- ①chàng gē (唱歌) ②shuì jiào (睡觉) ③chī fàn (吃饭)  
④yóu yǒng (游泳) ⑤kàn shū (看书)

**Step3** コンテキスト内でのメカニカル活動 (アウトプット活動)

(1) 次の文を提示し、学生は……部分にふさわしい場所{ }から選んで、例にならって言うてみる。

例：我妈妈是司机，在雅马多公司工作。

1. 我妈妈是大夫……，
2. 我爸爸是护士……，
3. 我姐姐是中文教师……，
4. 我哥哥是厨师……，
5. 我爷爷是外交官……，

{大阪大学医院，联合国，关西大学，迪士尼乐园，北京饭店，大手町小学校}

(2) a 群と b 群のことばを提示し、学習者は a の生き物にふさわしい場所を b から選び、例にならって言うてみる。

例：鸭子在水上睡觉。

- a. 天鹅、猴子、鱼、日本人、欧美人  
b. 榻榻米、水、树、床

**Step4** ミーニングフル活動 (アウトプット活動)

(1) 学習者をグループに分け、グループ内で分担をしてクラス中にインタビューをし、本を読むなら 1~3 のどこで読むのが好きか聞いてみる。

質問文：你喜欢……看书吗？

1. 图书馆
2. 咖啡店
3. 公园

(2) グループ内で分担をして、次の 1~4 の中で仕事をするとしたらどこで仕事をしたいか聞いて回り、いちばん人気のある場所を調べてみる。

質問文：你想不想……工作？

1. 美国，中国，韩国，俄罗斯
2. 北海道，东京，大阪，冲绳
3. 谷歌，雅虎，微软

#### 4. 迪士尼乐园，上海世博，联合国

##### Step5 コミュニカティブ活動（アウトプット活動）

日本に来る中国の高校生と休日をとともに過ごし、いろいろなところに案内することになった。そのためには相手の好みや希望を聞く必要がある。日本料理の店、ラーメン屋、ファーストフードのお店など、どこで食事をするのが好きか、ファーストフードならどのチェーン店が好きか聞く練習をする（ケンタッキー、マクドナルド、モスバーガー、吉野家、松屋、ファーストフードの店の中国語名を調べておくとよい）。また、遊びの場所としてどんなところに行きたいか、どんなところで買い物をしたいか、聞く練習をする（『ユニクロ』『GAP』『H&M』『無印良品』を中国語でどう言うか調べておくとよい）。また、現代の中国の若者の日々の生活を描いた映画やテレビ番組を見て、彼らの日常をイメージできるようにする。準備ができたなら、クラス内で日本の高校生と中国の高校生の役に分かれ、ロールプレイをする。中国の高校生が来たら、同じ質問を試してみる。

例:你喜欢在“麦当劳”吃饭吗?

    你想在“无印良品”买衣服吗?

##### 拡張活動（アウトプット活動）

大学進学を希望する高校生に、自分の嗜好や特技、大学での専門の選択、将来の職業の選択などを関連づけて考えさせるために、「日本人の大学生は、一般にどんな職業につきたいと思っているか、どんなところで働きたいと思っているか、自分の趣味や特技、大学での専門と職業との関係をどう捉えているか、また、中国人の大学生はそれらについてどう考えているかを調査し、進路決定の参考にする」という課題を与える。グループで質問項目を考えさせ、近在の大学の学生にインタビューをさせる。同じ調査を、その大学の中国人留学生に対して行い、回答を比較・考察した結果をまとめて発表させる。インタビューに協力してくれた日本人大学生には日本語で書いた結果のまとめを、中国人留学生には中国語で書いた結果のまとめを、謝辞とともに送付させる。